

海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、私たちができること

ごみのポイ捨てをしない、ごみを持ち帰る

- ◆ 「街中でポイ捨てされたごみ」や「外出先で放置されたごみ」は、川を通じて海に流れ出てしまうことがあります。ごみのポイ捨てなどは、絶対しないようにしましょう。
- ◆ 外出先で出たごみは持ち帰りましょう。



ごみを減らす行動を心がける

- ◆ 私たちの生活の中でごみを減らすことは、プラスチックごみを始めとする海洋ごみの削減にもつながります。
- ◆ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を心がけた行動で、ごみを減らしましょう。



海への影響が少ない製品を使用する

- ◆ プラスチック製品が風で飛ばされてしまうなど、「意図せずプラスチックがごみになってしまうこと」があります。
- ◆ プラスチックごみによる海の汚染を無くすため、紙や海洋生分解性プラスチックなど「微生物により分解される素材を利用した製品」を進んで利用しましょう。



海に関心を持ち、清掃活動へ参加する



海岸清掃(蒲郡市)

- ◆ 国では、ごみゼロの日の5月30日から世界海洋デーの6月8日前後の期間を、「海ごみゼロウィーク」として、全国一斉清掃活動の実施を呼び掛けています。この期間に限らず、街中も含め清掃活動に参加し、海に流出するごみを減らしましょう。

海ごみから あいちの海を 守ろう

～海洋プラスチックごみ問題～



せいきち
カッパの清吉



AICHI



佐久島の海岸
(西尾市)

海岸は、今...

- 愛知県の海岸には、流木に混じって、ペットボトルやプラスチックトレイなど、プラスチックごみが漂着しています。
- プラスチックごみの漂着により、景観の悪化や生態系への影響などが懸念されており、海洋プラスチックごみの発生抑制が求められています。



あいちのうみのコト 検索



愛知県は「SDGs未来都市」として、SDGsの取組を推進しています。





海洋プラスチックごみの原因

増加する海洋プラスチックごみ

- 山などに降った雨は、川となり、街を流れて、海に戻ります。近年、この水の流れの中に「街中でポイ捨てされたペットボトル」など、様々なプラスチックごみが、川の流れを通じ海に流れ込むことなどにより、海洋プラスチックごみが増えています。



ごみで溢れる新川河川敷 (名古屋市中区)

河川のごみの状況

- 県が実施した河川ごみ回収調査では、7割が生活系のごみでした。
- 生活系ごみの内訳を見ると、ペットボトルや食品容器・包装など「使い捨てプラスチック(ワンウェイプラスチック)」が多くを占めていました。



※平成25年度・26年度 愛知県「河川ごみ回収調査」データより。パーセントは、回収した全てのごみに占める各ごみの割合を示す。

プラスチックごみの特徴

プラスチックの特徴



西の浜 (田原市) に漂着したごみ

- プラスチックは、商品の包装や容器、また製品の一部として、様々な分野で利用されており、私たちはその恩恵を受け、快適な生活を営んでいます。
- プラスチックは丈夫で成形が容易な素材である反面、環境中に排出されると分解により自然に還ることが困難で、長期にわたり環境中に残ります。



微細化するプラスチック

- 海に流れ出したプラスチックごみは、紫外線による劣化や波の作用などにより砕け、微細化し、大きさが5mm以下のプラスチック、いわゆるマイクロプラスチックに変化します。
- マイクロプラスチックは、微細なため、環境中から回収することが大変困難です。



知多郡美浜町 (野間海岸) で採取されたマイクロプラスチック



洗顔料中のマイクロビーズ
東京湾の海水から見つかったマイクロビーズ
写真:「海洋ごみ学習用教材」(環境省)掲載
東京農工大学高田秀重教授より

洗顔料の研磨剤など、微細なプラスチックを添加した製品もあり、使用とともに環境中に排出され、マイクロプラスチックになるものもあります。

海洋プラスチックごみによる生態系への影響

生物たちを傷つけるプラスチックごみ

- ウミガメやウミドリなどの海洋生物が、プラスチックごみを誤食し、また絡まるなどして衰弱し、死に至る事例が確認されています。

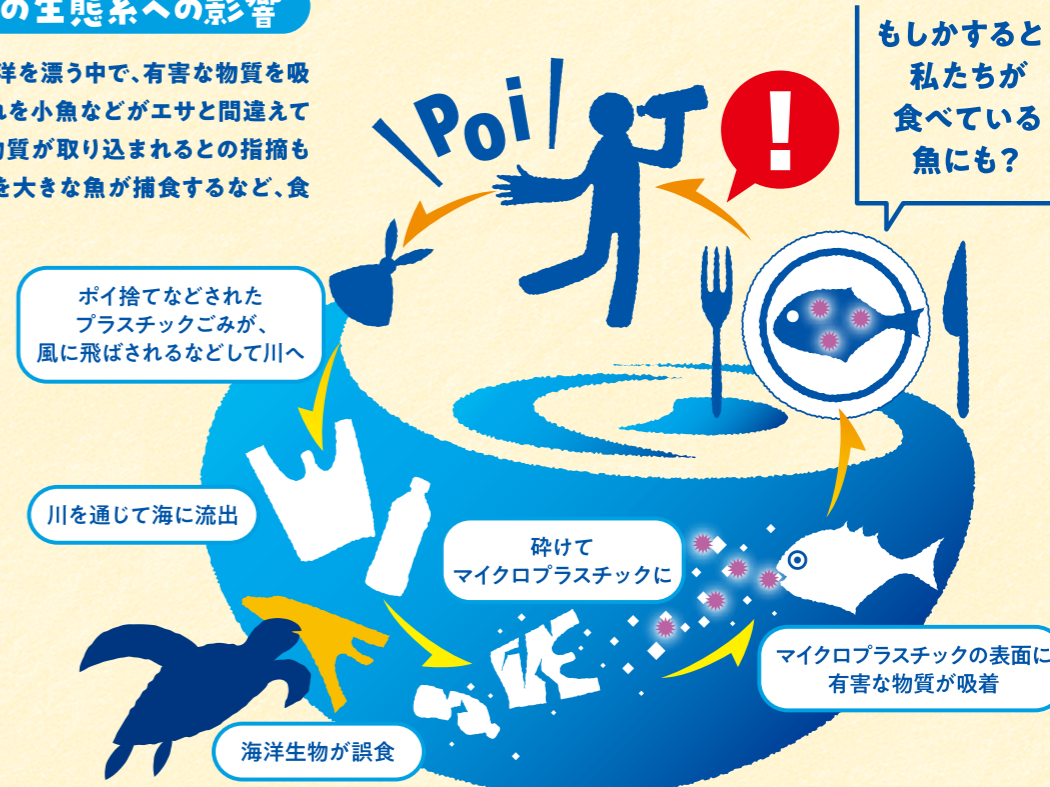


写真:「海洋ごみ学習用教材」(環境省)掲載
NOAA (アメリカ海洋大気局) より

漁網に絡まったウミガメ

マイクロプラスチックの生態系への影響

- マイクロプラスチックは海洋を漂う中で、有害な物質を吸着することがあります。それを小魚などがエサと間違えて食べ、その体内に有害な物質が取り込まれるとの指摘もあります。このような小魚を大きな魚が捕食するなど、食物連鎖を通じて、最終的に人が有害な物質を摂取してしまう可能性もあります。
- 人が捨てたプラスチックごみが、巡り巡って人の健康に影響を与えてしまうことが、今、懸念されています。



ポイ捨てなどされたプラスチックごみが、風に飛ばされるなどして川へ

川を通じて海に流出

砕けてマイクロプラスチックに

海洋生物が誤食

マイクロプラスチックの表面に有害な物質が吸着